

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ウォンツ井口明神店	階数	地上2F
建設地	広島県広島市西区井口明神一丁目	構造	S造
用途地域	近隣商業地域, 準防火地域	平均居住人員	115 人
気候区分	6地域	年間使用時間	21,900 時間/年
建物用途	事務所,物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年1月 予定	評価の実施日	2015年9月24日
敷地面積	3,355 m ²	作成者	高本理絵
建築面積	1,332 m ²	確認日	2015年9月18日
延床面積	2,461 m ²	確認者	高本理絵



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	81%
③上記+②以外の	81%
④上記+	81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

音環境	3.4
温熱環境	2.6
光・視環境	2.6
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

機能性	2.9
耐用性	2.9
対応性	2.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

建物外皮の	3.0
自然エネ	N.A.
設備システ	4.0
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

水資源	3.0
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

地球温暖化	3.7
地域環境	3.5
周辺環境	3.0

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア= 3.1

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.2	スコア= 2.8	スコア= 2.8
設計の計画上特段に配慮した事項 外部からの日射と温度差による熱損失に配慮し、外壁及び天井面の断熱材と窓部へのブラインドを採用/屋光利用と手動での通風と換気のできる開口部を設け、自然エネルギーの直接利用を考慮/照明器具におけるLEDの採用/省エネルギーを意識した運用管理体制の組織化を行い消費量の目標値を設定する//ライフサイクルCO ₂ を排出率が一般的な建物と同等で大気汚染に係る燃焼器具を使用しておらず、外部空間への汚染がない	設計の計画上特段に配慮した事項 敷地内に一定の面積の緑地を設けることで、地表面における敷地外への熱的影響を低減/条例に定められている駐車場及び駐輪場の台数確保を遵守。敷地外の環境に配慮した動線計画により安全にも配慮。	設計の計画上特段に配慮した事項 耐用性の高い資材を使用し、メンテナンスも容易な耐候性のある部材を採用/オール配管工法とOAフロアを採用し、設備の更新に対応

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される